地域づくり・自治区長業務に関するアンケート　集計結果

１　調査概要

■調査の目的

本調査は、町の第４次総合計画の将来像である「もっとつながる ほっとやすらぐ ずっと住みたい 美しきふる里 会津美里町」を実現するための「特色ある持続可能な地域づくり」進めるにあたり、今後の地域づくりに関する基本的な方針を策定するため、地域の現状や課題をはじめ、自治区長業務に対するご意見を伺うことを目的としています。

■実施期間　令和８年８月１日～31日

■調査方法　郵送又はウェブフォームへの回答

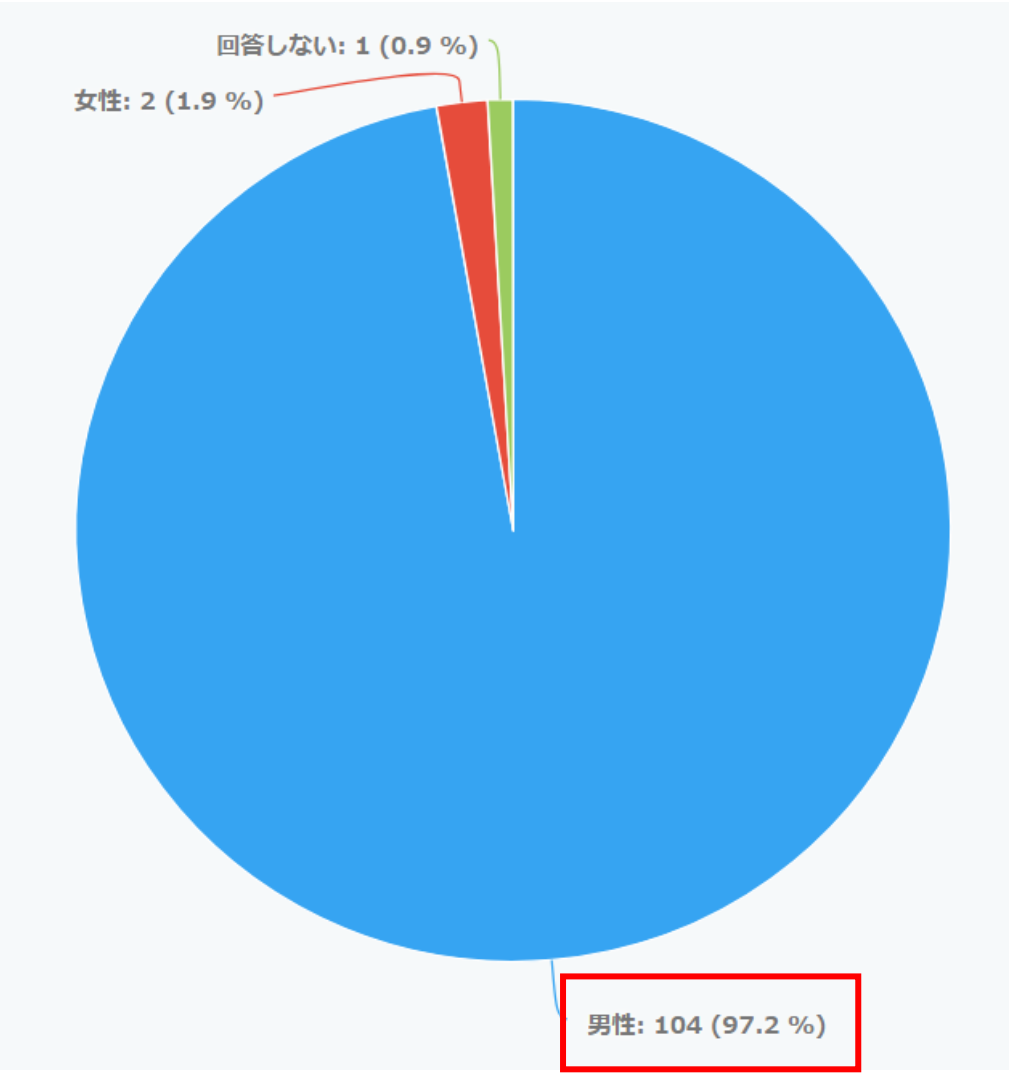
■対象自治区数　154件

■回答数　107件

■回答率　69.5％

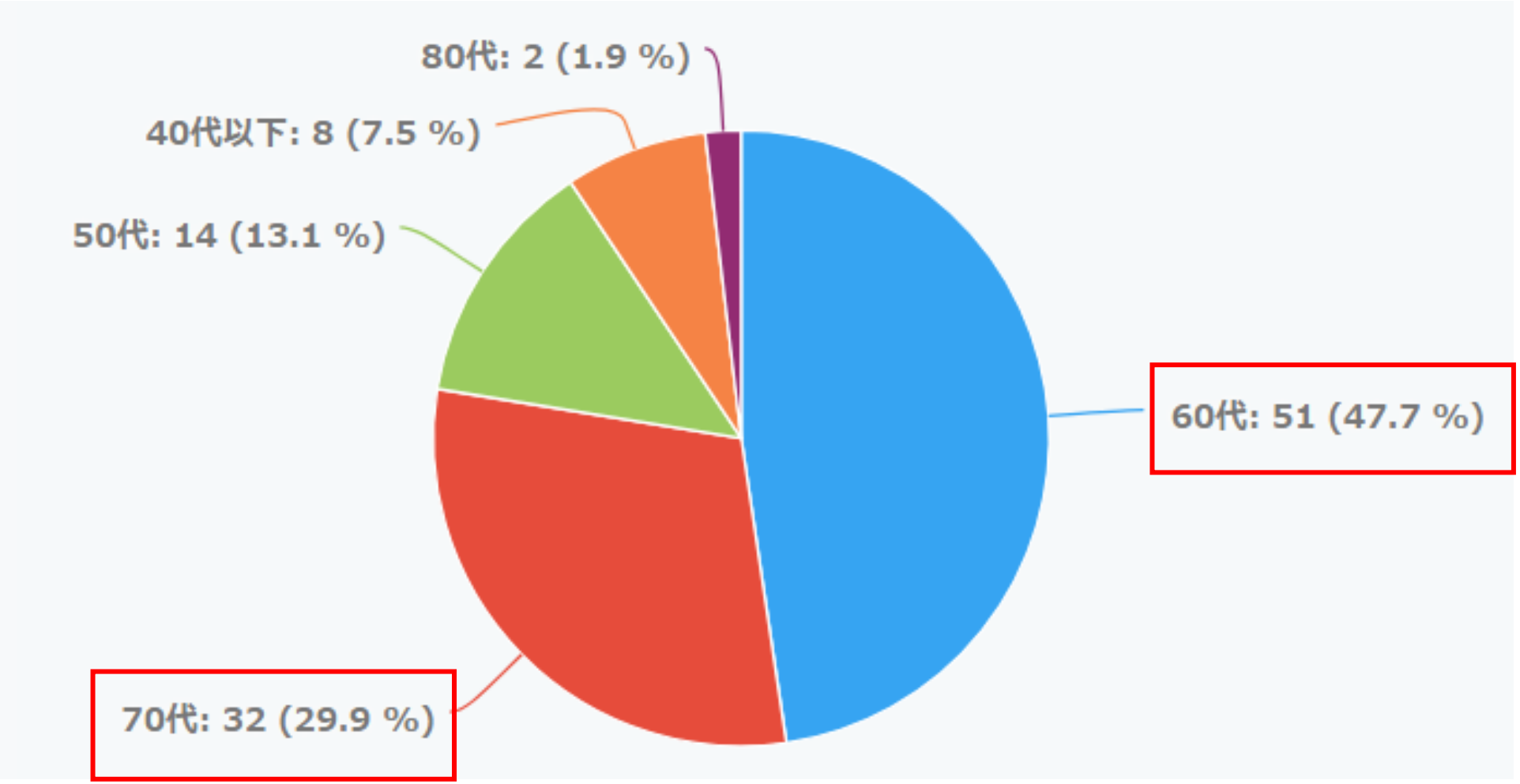
【問１ あなたの性別について】

男性の自治区長が大半（97.2%）を占める一方、女性の自治区長は２名（1.9%）となっている。



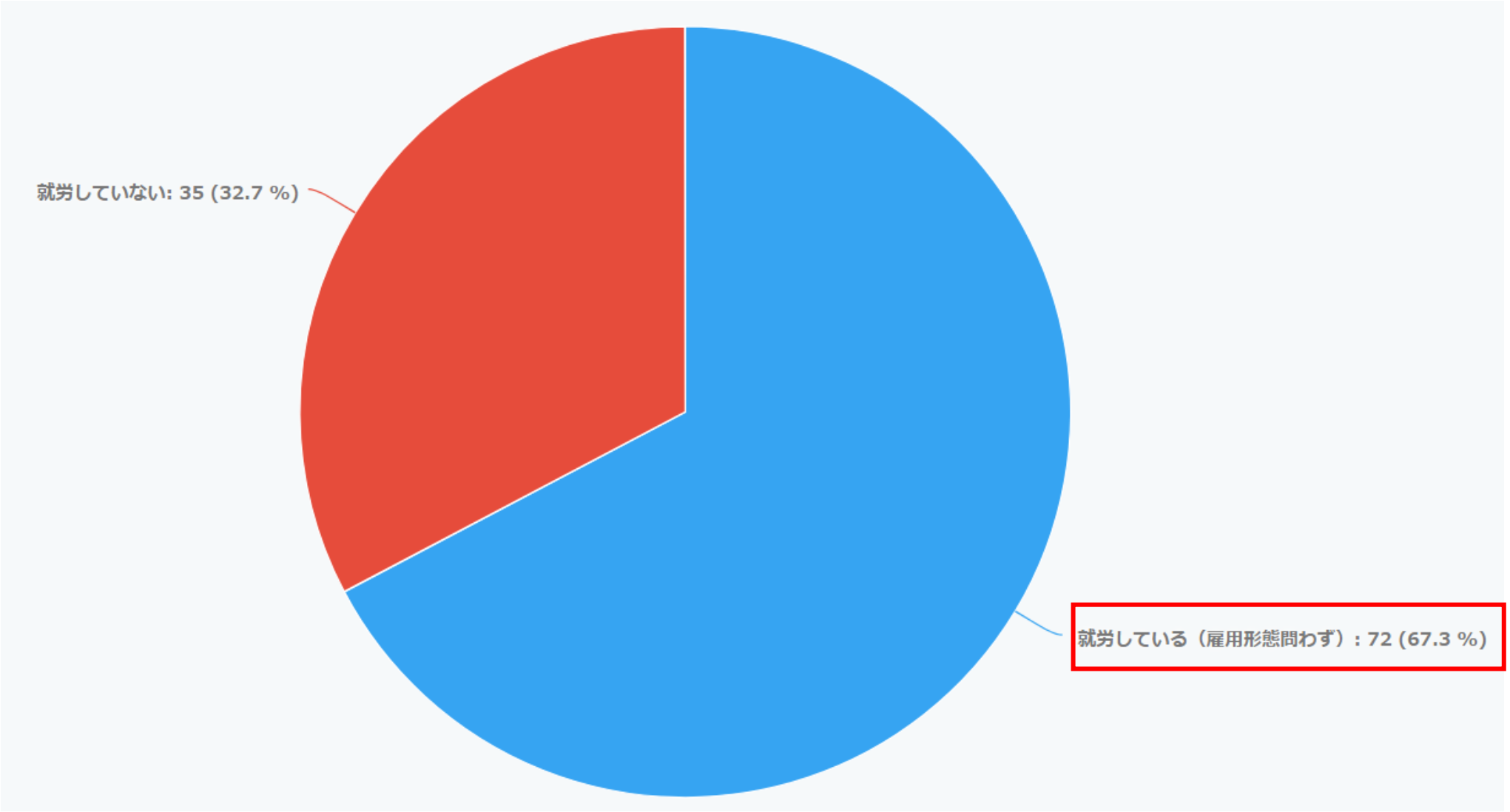
【問２ あなたの年齢について】

60代～70代の自治区長が全体の約80％を占める一方で、働き盛りの50代、40代以下の自治区長は約20％となっている。



【問３あなたの 就労状況について】

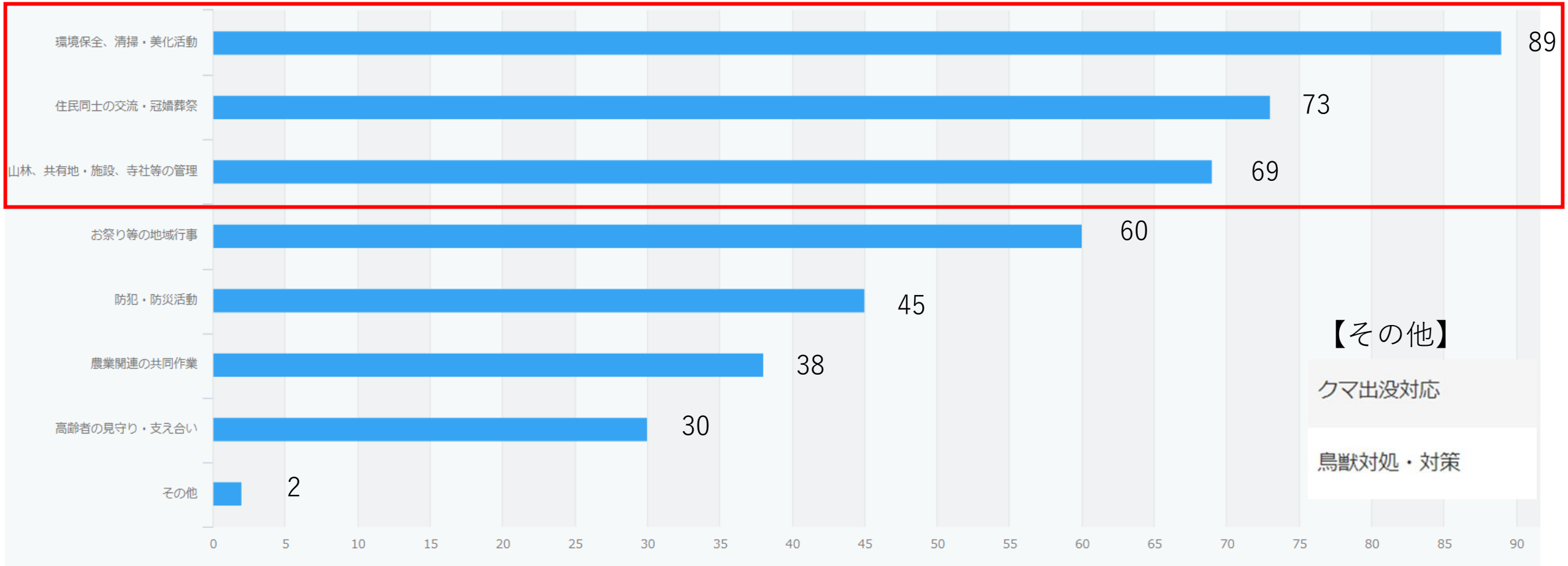
約７割の自治区長が就労していると回答していることから、自身の仕事と自治区長業務を兼務していることがわかる。



【問４自治区での取組状況について】※複数回答可

「環境保全、清掃・美化活動」に関する取組が最も多く、次いで、「住民同士の交流・冠婚葬祭」、「山林、共有地・施設、寺社等の管理」となっている。

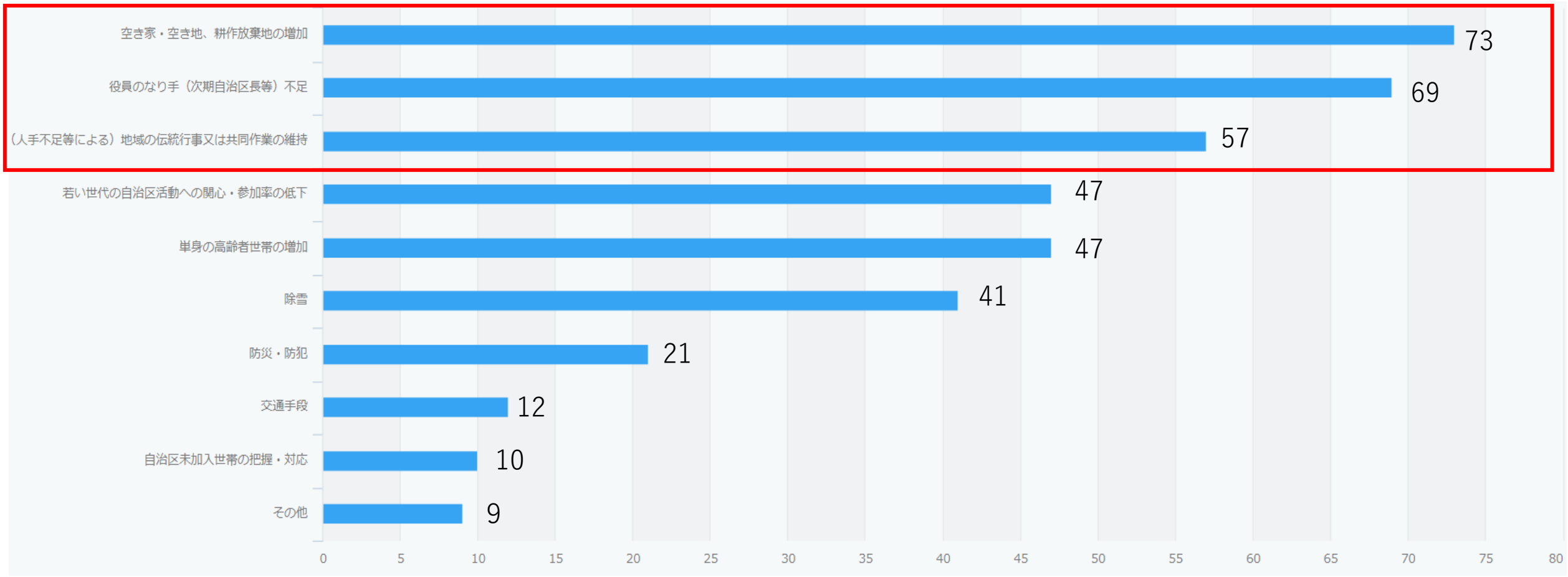
単位：人



【問５自治区においてどのような問題点や不安を感じていますか】※複数回答可

「空き家・空き地、耕作放棄地」といった周辺環境に関することや、「役員のなり手（次期区長等）不足」や「人手不足によよる地域の伝統行事や共同作業の維持」といった地域の人材不足を不安視する回答が多くなっている。

単位：人



【問５ その他の回答事項】

熊やイノシシ等による被害といった野生動物に関することや、自治会組織自体の存在意義の希薄化といった地域コミュニティの維持存続を危惧する回答となっている。

アパート住人の自治区活動への不参加

クマ、イノシシ等野生動物の出没増加。

世帯数減少　クマ・イノシシ被害　地下水

単身の高齢者世帯の増加

問5「自治区においてどのような問題点や不安を感じていますか。」について、たぬきハクビシン等の住み家になっている

耕作放棄　田畑の増加

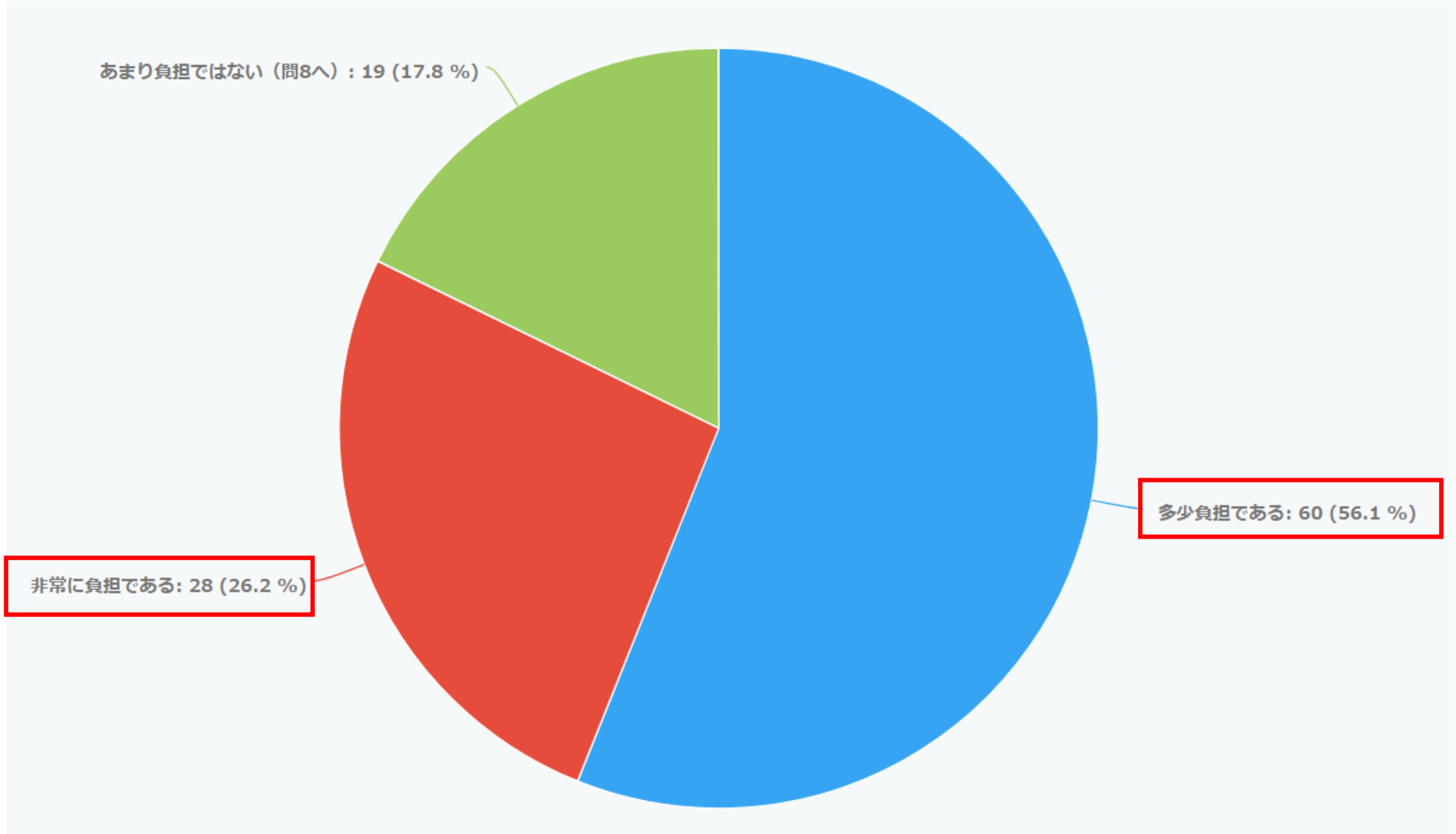
自治会そのものの存在意義が希薄になっている。近い将来　学校のPTA組織と同様、会に入会しないという選択肢がでてくると予測している

若い世代がいない　また単身のため子どもがいない

鳥獣被害

【問６ 自治区長の業務についてどの程度負担に感じていますか】

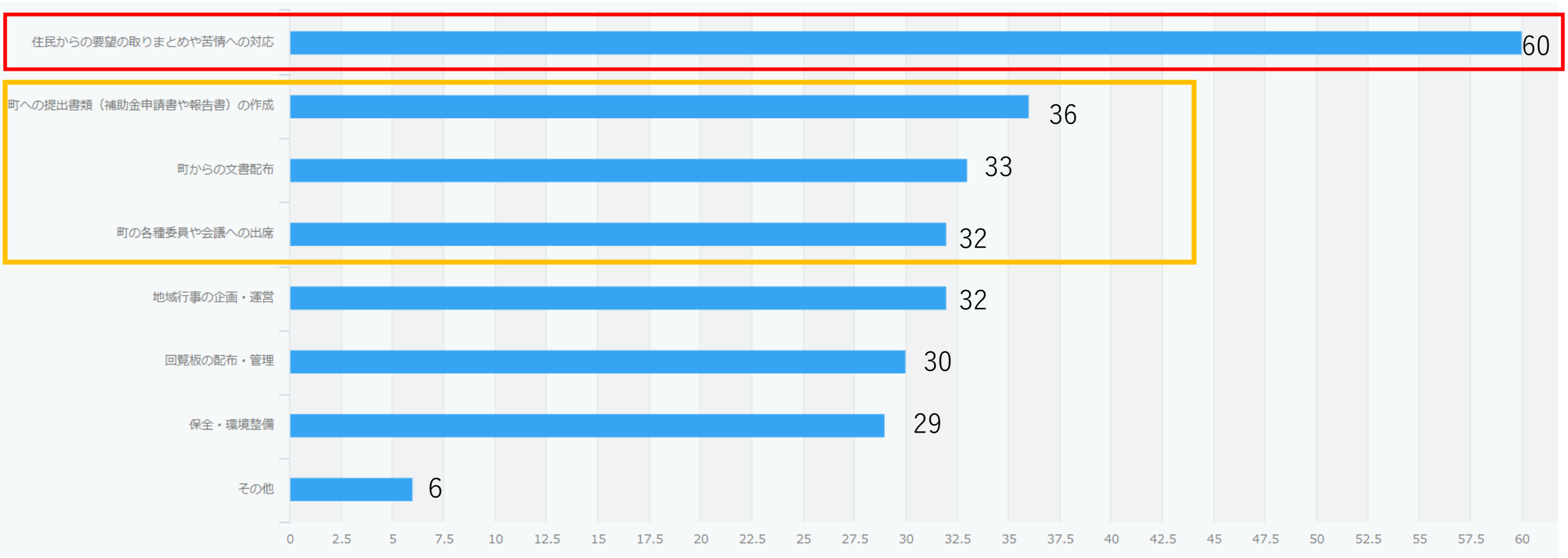
「非常に負担である（26.2%）」、「多少負担である（56.1%）」と回答していることから、８割以上の自治区長が自治区長業務について負担を感じている。



【問７自治区長として負担に感じる業務】※回答者は問６で「1.非常に負担である」「2.多少負担である」と回答した者　※複数選択可

負担に感じる業務として、自治区内での業務となる「住民からの要望の取りまとめや苦情への対応」が最も多い。また、「町への提出書類の作成」、「町からの文書配布」、「町の各種委員や会議への出席」といった、町から自治区長へ依頼する業務についても負担を感じていることが分かる。

単位：人



【問７自治区長として負担に感じる業務　その他】※原文記載

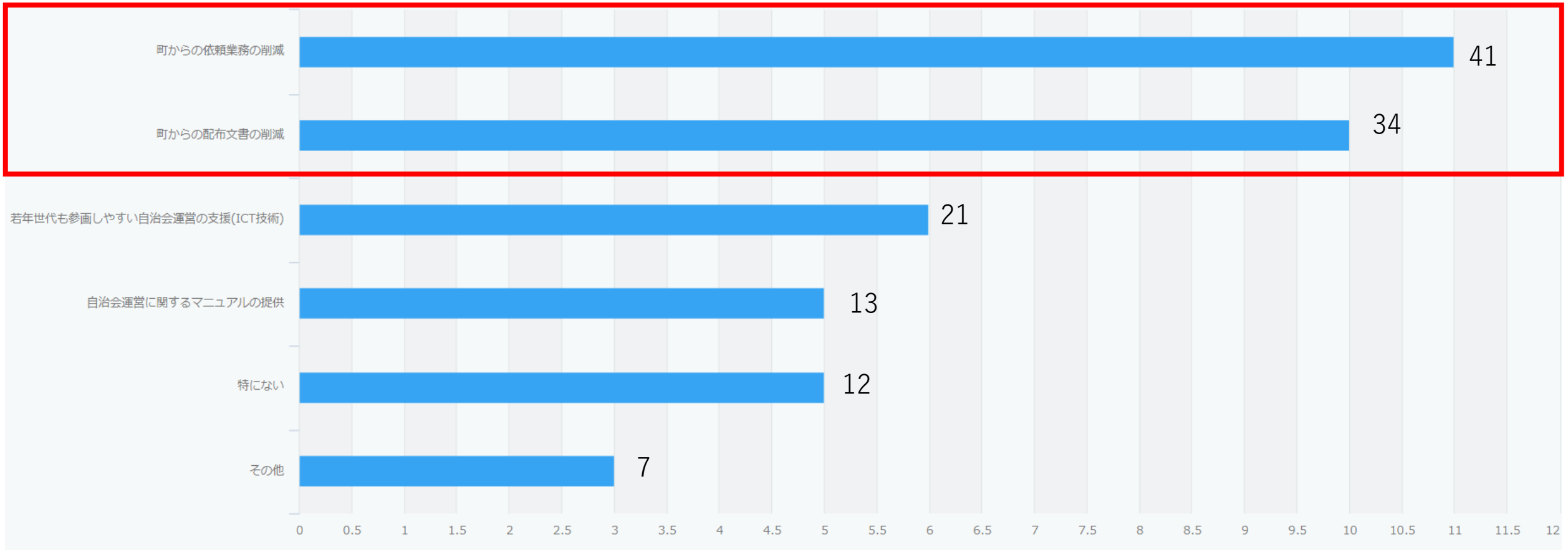
自身の仕事と自治区長業務を兼務している自治区長が多いことから、会議や総会の調整等を負担に感じていることが分かる。

夜勤等があるので会議、総会の調整
平日昼間帯での就労体系では役所もなかなか行けずかなりの負担。幼稚園、小学校関連でも休む日もあるので、そこに区長もとなると負担が大
戸数が減少する中での草刈作業や施設の維持等
老女の委員が半数
選挙立会人

【問８ 自治区長業務の負担を軽減するために町に求める支援等はありますか　複数回答可】

「町からの依頼業務の削減」や「町からの配布文書の削減」といった、町から自治区長への依頼業務の削減を求める回答が多くなっている。

単位：人

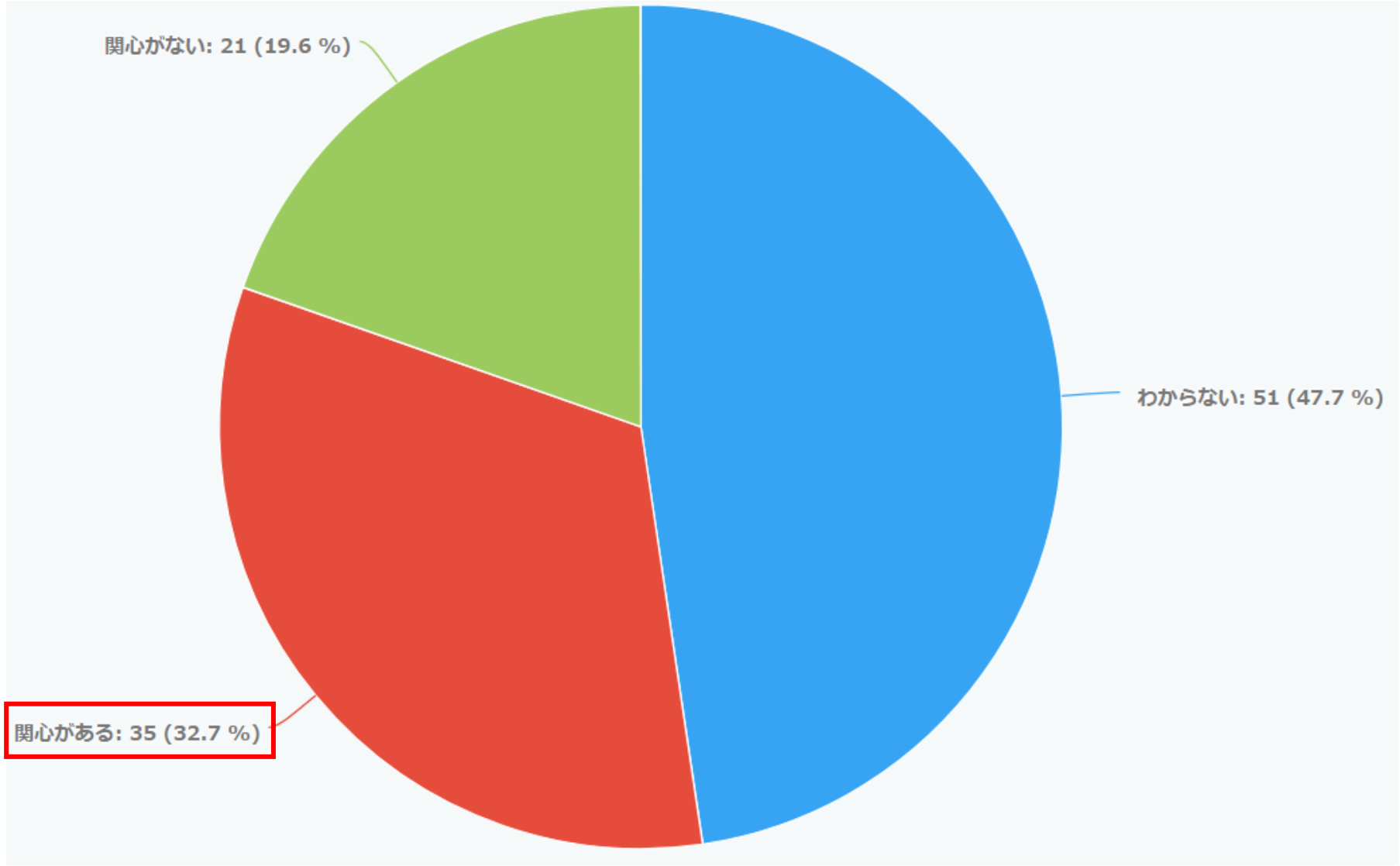


【問８　その他に関する回答項目】

「マニュアル」があるのであれば最初の総会の時に提供すればよいのでは？
一人で全ての管理をしなければならない。配布、現金の取りまとめ
人的支援を受けられる施策
区長会では意見を言いにくいしタイミングも難しい　このようなネットを活用しての意見や質問を常時言える環境が望ましいと思う
回覧文書配布の時役場職員が出向いて手伝う
平日休みを取って手続きが必要土曜日区長提出書類を受け付けて欲しい
町行事の広報に工夫が必要だと思う。
農業水管理
配布文書の枚数を確実にする
配慮されていると思う

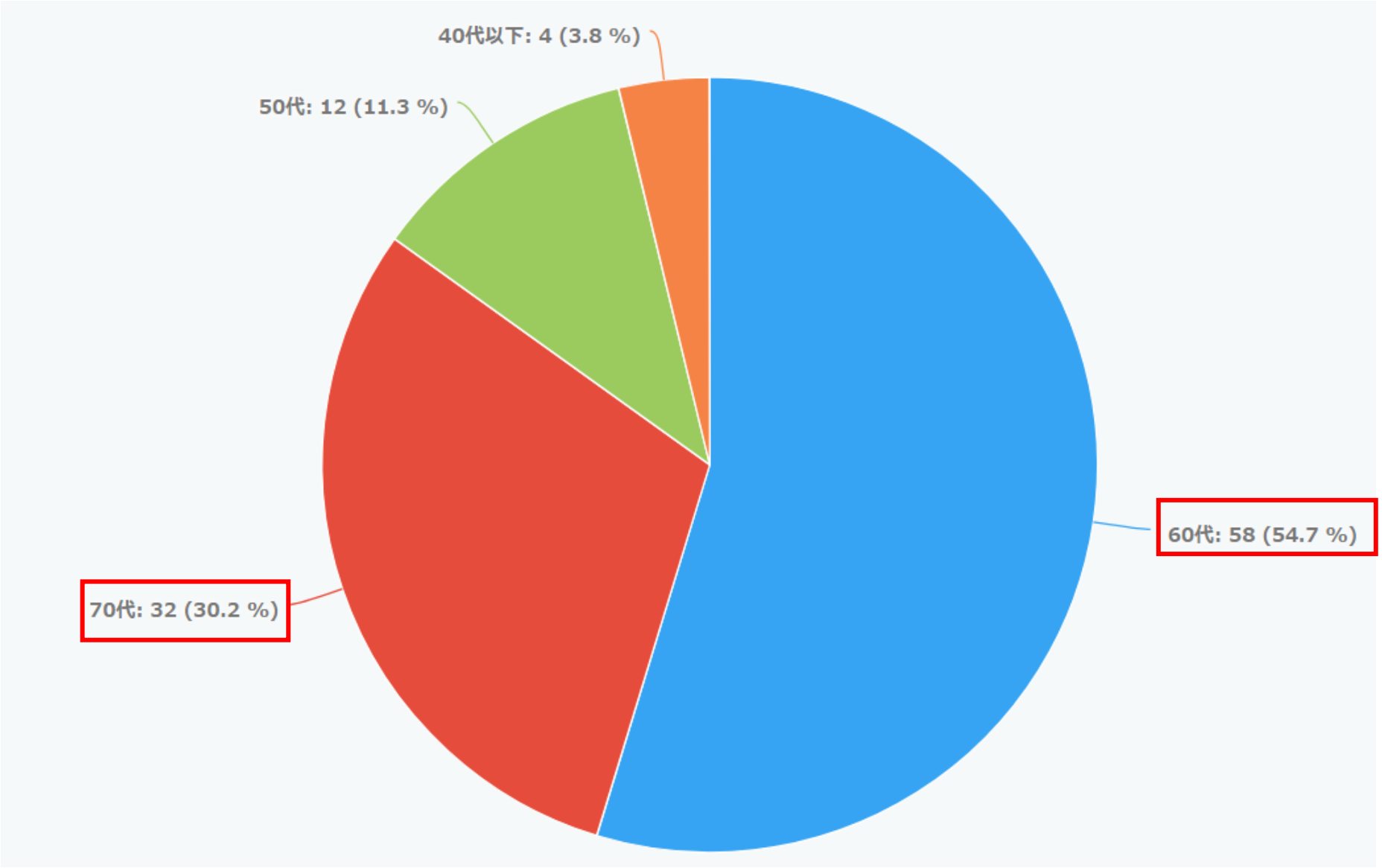
【問９ 町が自治区長業務にICTを導入することについて】

わからない」との回答が47.7％、「関心がない」との回答が19.6％と全体の約７割を占め、「関心がある」との回答は32.7％となっていることから、自治区長業務へのＩＣＴの導入への関心が高まっていないことが分かる。



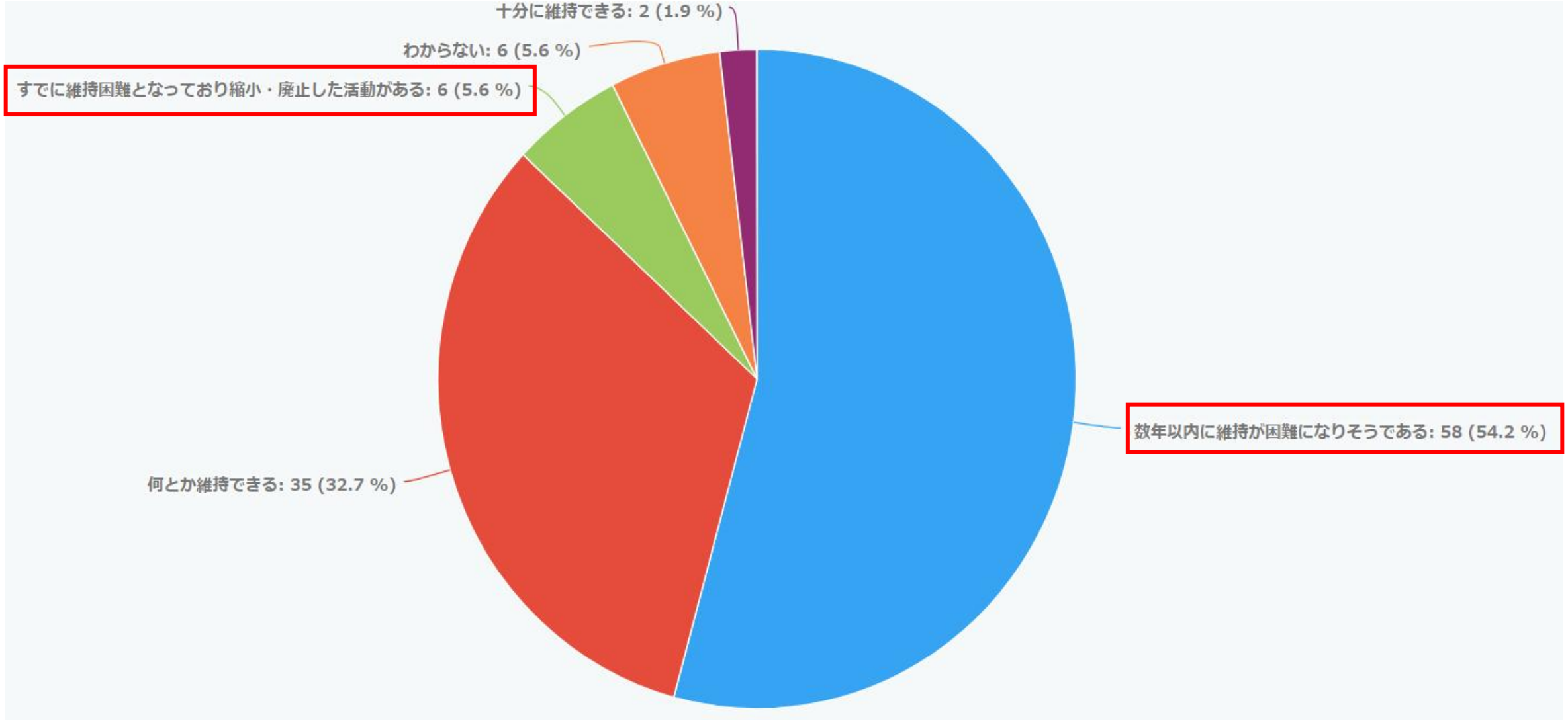
【問10 自治区における地域活動の中心になっているのはどの年代ですか】

60代～70代の住民が地域活動の中心となっているとの回答が約85％である一方、40代以下、50代との回答は15％と低い傾向にある。



【問11 今後10年を見据えた場合、現在自治区で行っている活動は維持できると思いますか】

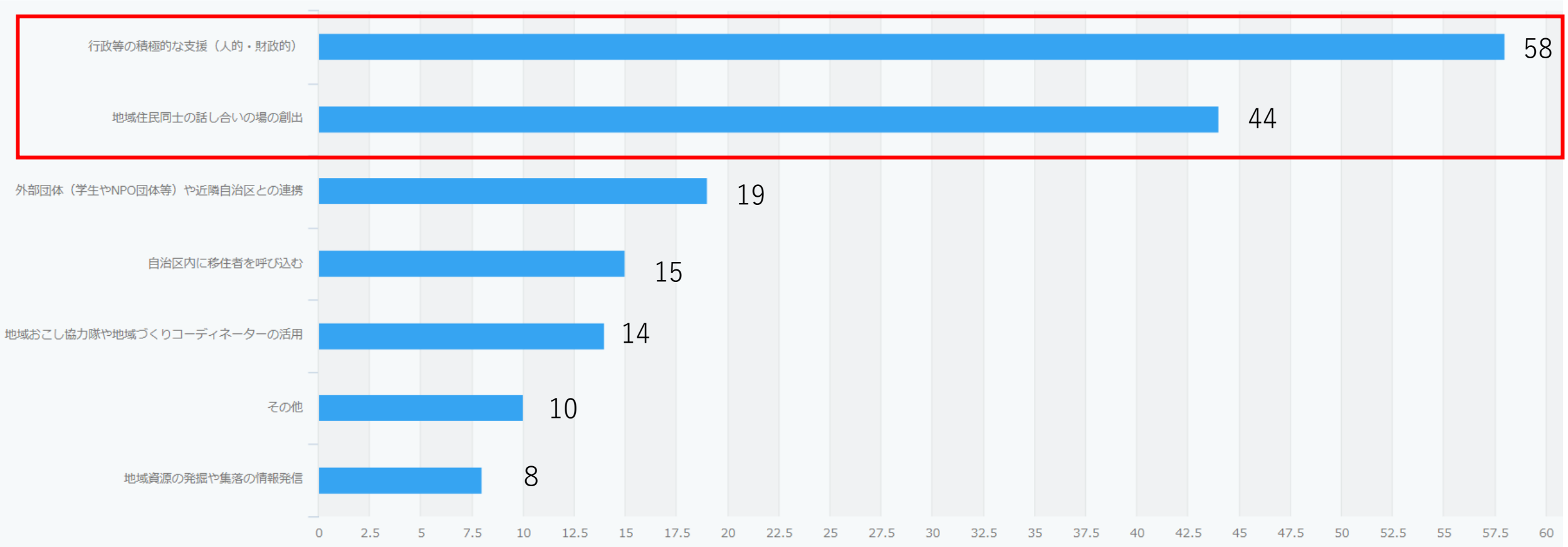
「数年以内に維持が困難になりそうである」との回答が54.2%、「すでに維持困難となっており縮小・廃止した活動があると」との回答が5.6%と、全体の約６割の自治区長が自治区での活動維持について困難と感じていることがわかる。



【問12 地域活動を維持するために必要と考えることは何ですか 複数回答可】

「行政等の積極的な支援（人的・財政的）」との回答が最も多く、次いで「地域住民同士の話し合いの場の創出」との回答が多くなっている。

単位：人



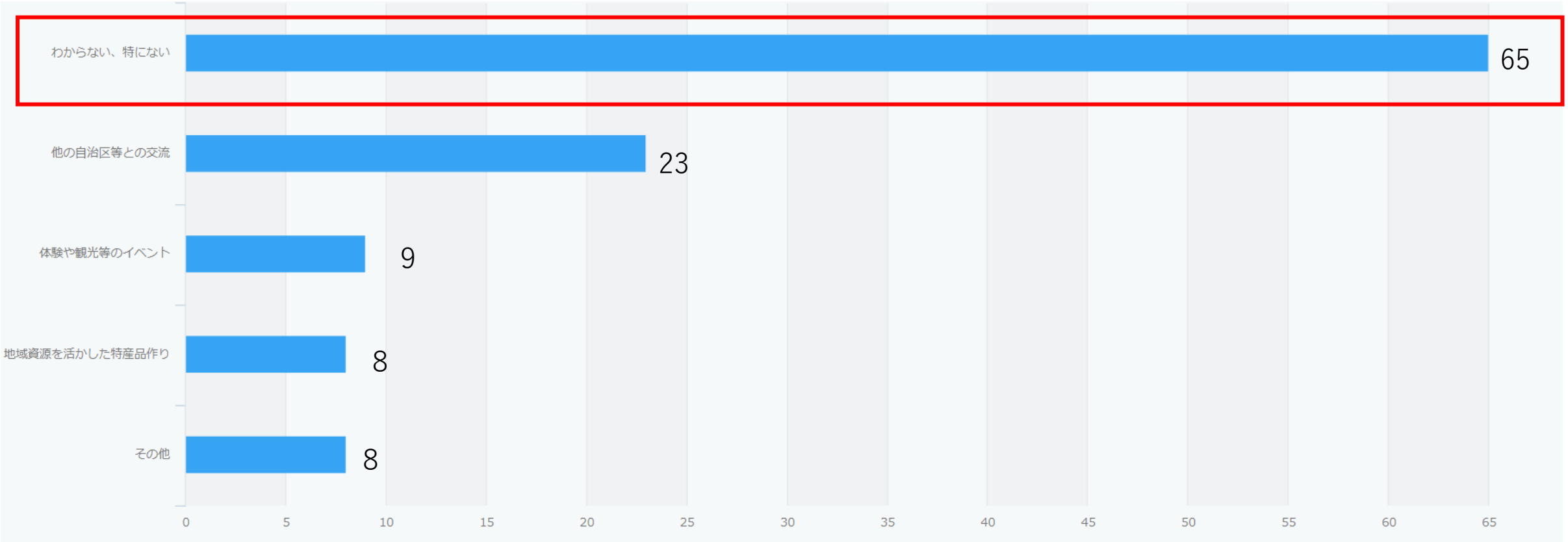
【問12　その他の　回答項目】

一次産業従事者への所得補償制度を施策して欲しい
人材の確保（育成）と参加しやすい仕組み作り
住民が地域活動を継続したいという意識を作るための方策。
地区によっては高齢化しているので活動の縮小化
地域での活動は協力出来る人のみで行う。
現状の状態で十分
自治区の再編早期検討、実施　それに伴う行政の支援策
若手の跡取りがふえる事　知らない移住者はいらない
近所付き合いが少なくなっている為、普段の中で活動の必要性があるかどうかわからない

【問13 今後自治区の地域づくりとして取り組みたいことは何ですか　複数回答可】

「わからない、特にない」との回答が最も多いことから、地域づくりのイメージや必要性を認識してもらうことが必要となる。

単位：人



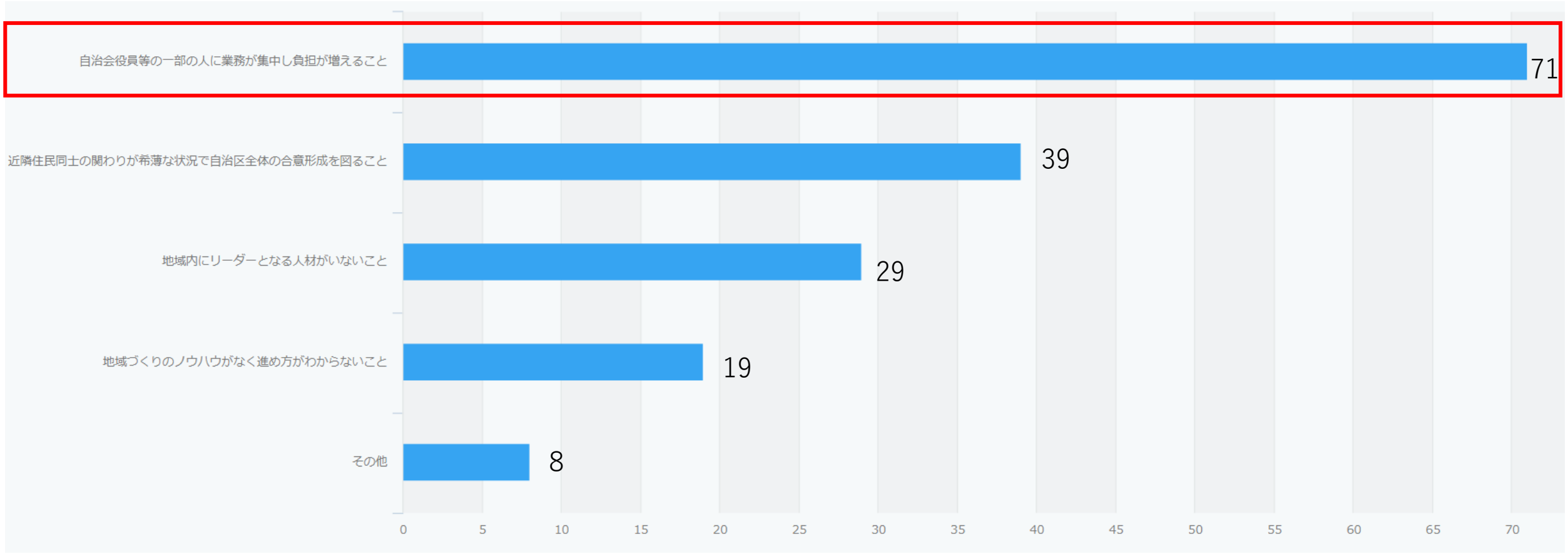
【問13 その他の回答項目】

地域づくりというものがどういうものなのかよくわからない
地域住民間の関わりを維持・継続してゆくこと
子供が参加（楽しめる）イベント
害獣対策
災害の際の防災、救済活動のマニュアル
災害時に補助が必要となる方の把握
現在の維持がせいいっぱい
環境保全

【問14 自治区での地域づくりにおいて課題となることは何ですか】

「自治会役員等の一部の人に業務が集中し負担が増えること」との回答が最も多く、地域づくりに取組むことで自治会役員等に発生する負担についての懸念がうかがえる。

単位：人



【問14 その他の回答項目】

「住民の交流がないこと」といった、地域コミュニティの希薄化に関することや、「本当に地域づくりが望まれているのかの確認」といった、自治区における地域づくりの必要性についての課題が挙げられている。

住民の交流がないこと

具体的な避難場所や、水、トイレの確保をどうするか?

地域内で人を育てる

地域内にリーダーとなる人材がいないこと

戸数減少による行事維持

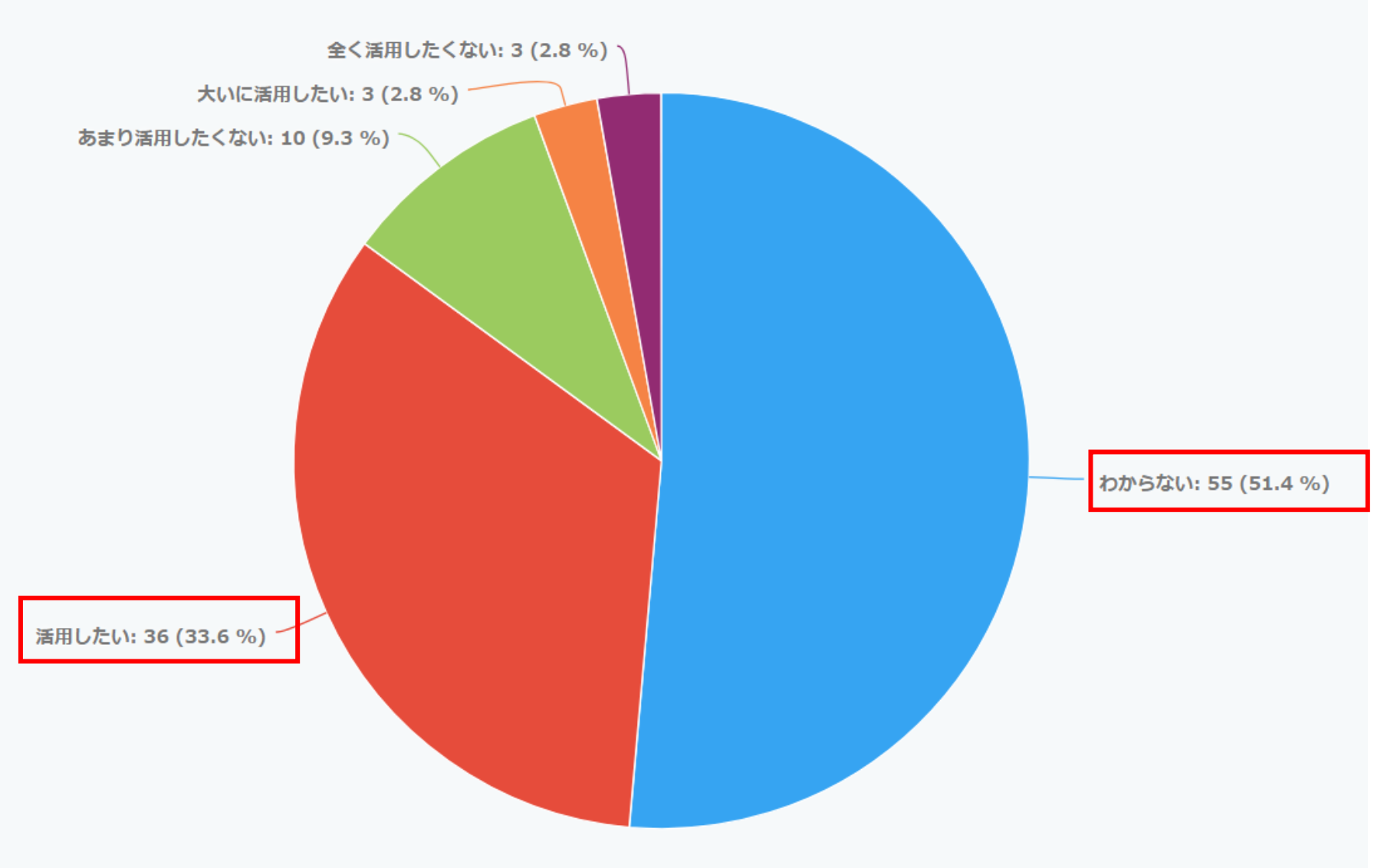
本当に地域づくりが望まれているのかの確認

限界集落の解消をすること

高齢化、世帯減少→環境保全への省力化。補助。

【問15 地域づくりを行う場合の地域づくりコーディネーターの活用について】

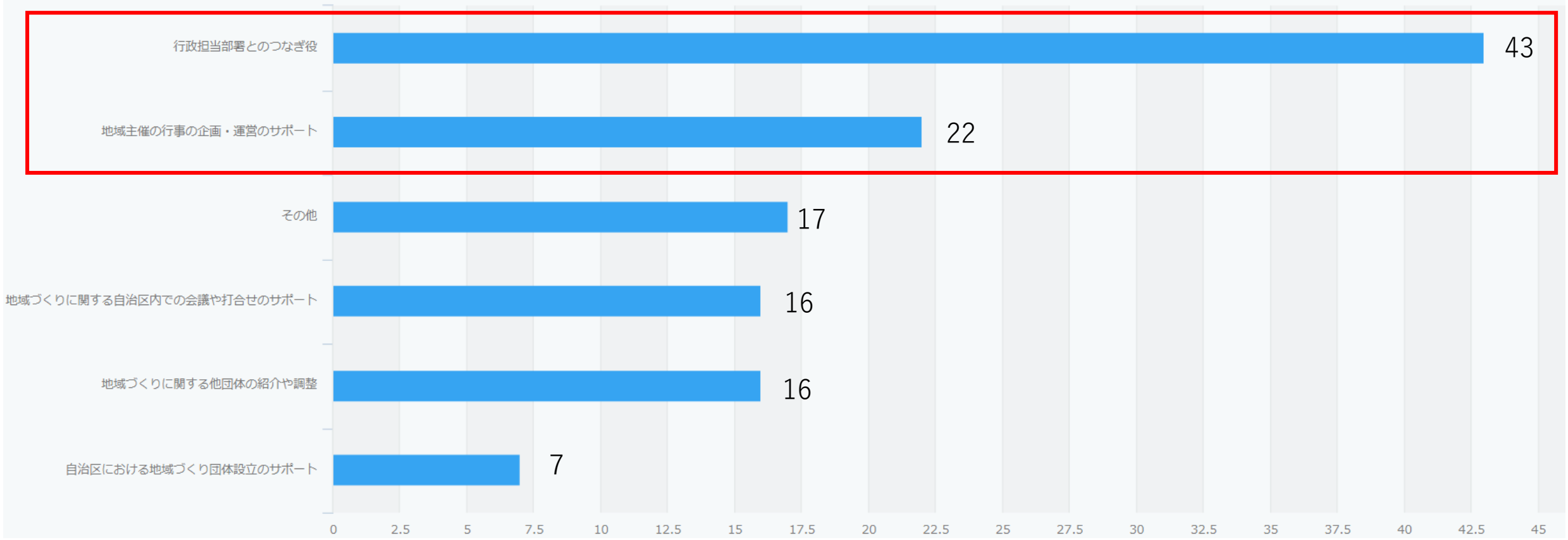
「わからない」との回答が51.4％と最も多い一方、「活用したい」との回答は33.6％となっていることから、地域づくりコーディネーターの業務内容や活用方法について今後周知を図る必要がある。



【問16 自治区の地域づくりにおいて地域づくりコーディネーターに求める役割】

「行政担当部署とのつなぎ役」との回答が最も多く、次いで、「地域主催の行事の企画・運営のサポート」との回答が多くなっている。自治区と行政との調整、さらには、地域行事の企画・運営面でのサポートが期待されている。

単位：人



【問16　その他の回答項目】

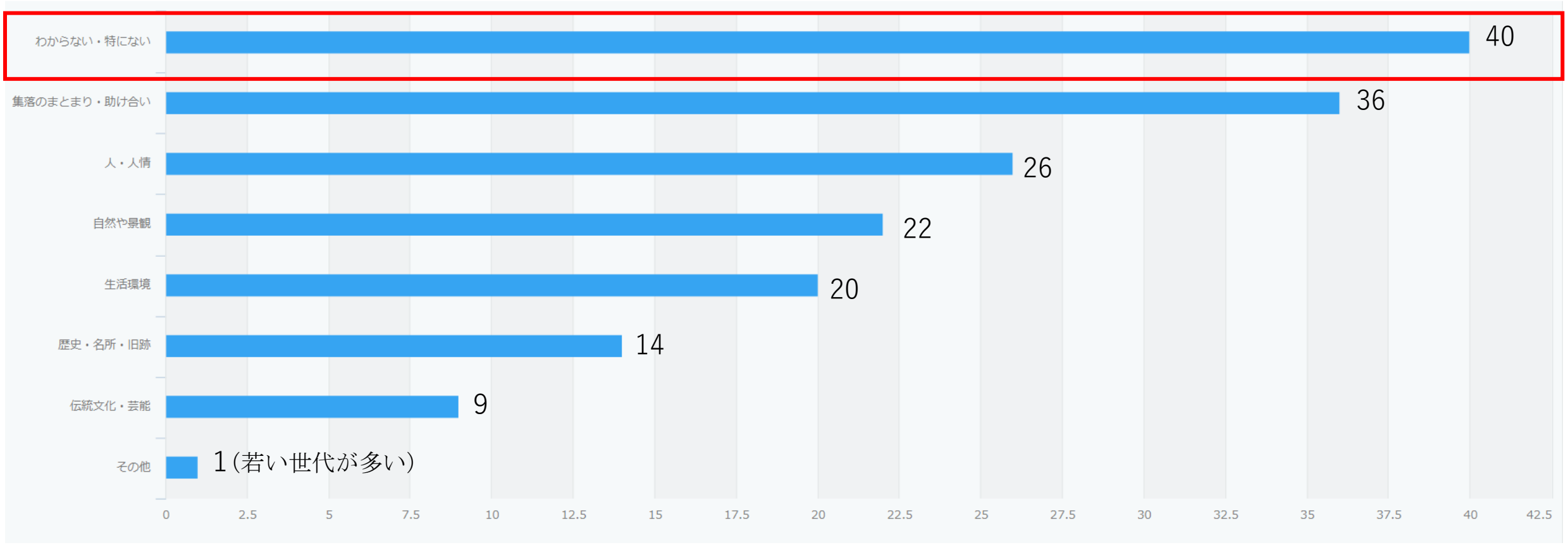
地域づくりコーディネーターの業務内容や役割について周知するとともに、本町における地域づくりの意義や必要性を町民に対し丁寧に説明することが求められる。

「地域づくり」とは何なんでしょうか？
『地域住民が地域活動を必要』と思わせるための活動。手法や各種サポートの以前の段階のための活動。
そもそも、地域づくりコーディネーターの業務を十分理解していない。
よくわからない
わからない
コーディネーターの業務内容が分からない
個々の自治区での問であるが、戸数減の中で新たな取組は困難。新鶴は地域全体での取組が必要。今回のハーフマラソン大会の取組大いに結構
問15と同じ
地域づくりは無理　地域の維持存続
将来に向けた役員体制について
特に思いつかない
肩書だけで何ができるのかな
限界集落の解消

【問17　あなたの自治区の魅力は何ですか】

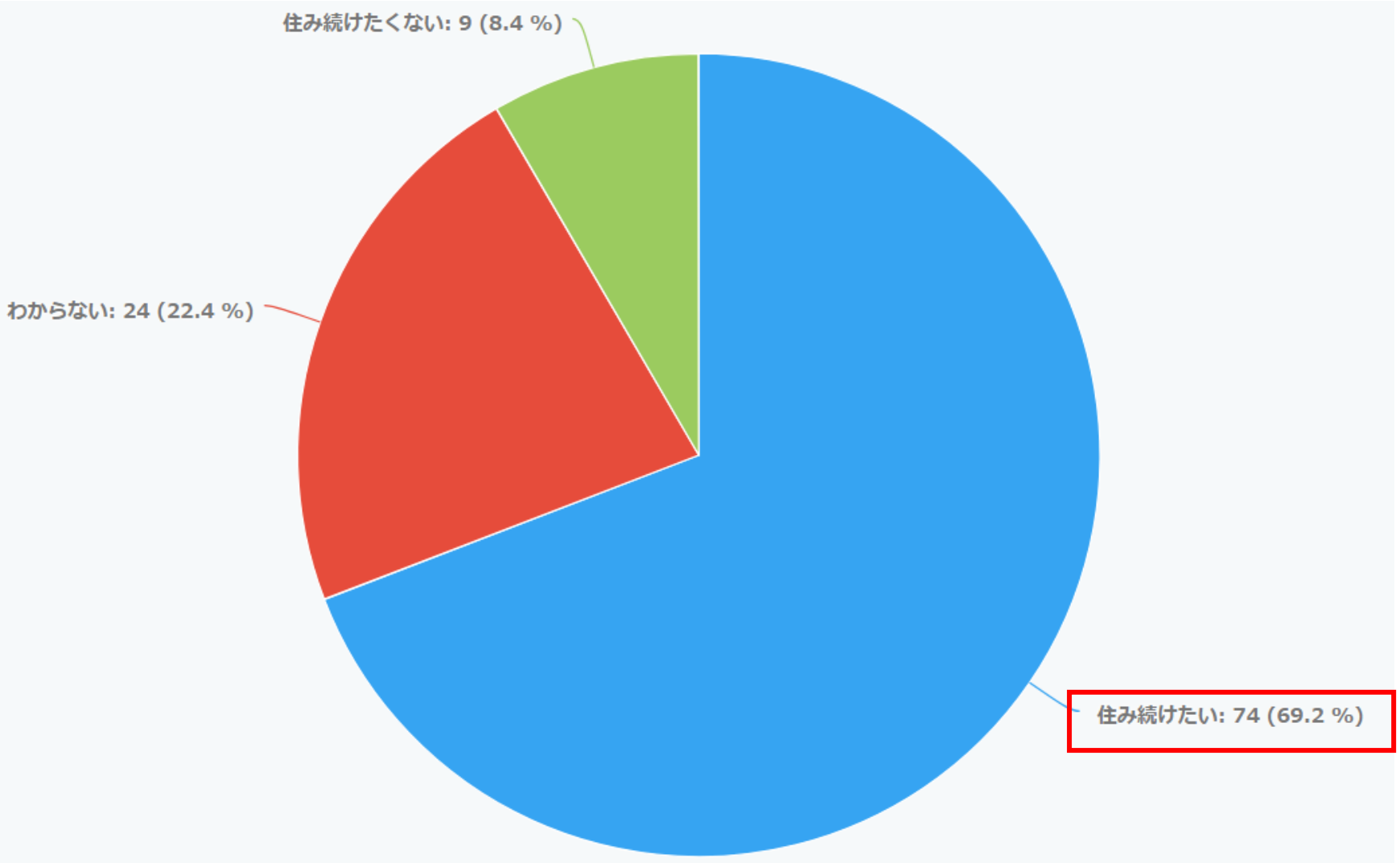
「わからない・特にない」との回答が最も多いことから、今後地域づくりに関する施策を展開するうえで、自治区の魅力や誇りといった地域資源を再確認してもらう働きかけが重要となる。

単位：人



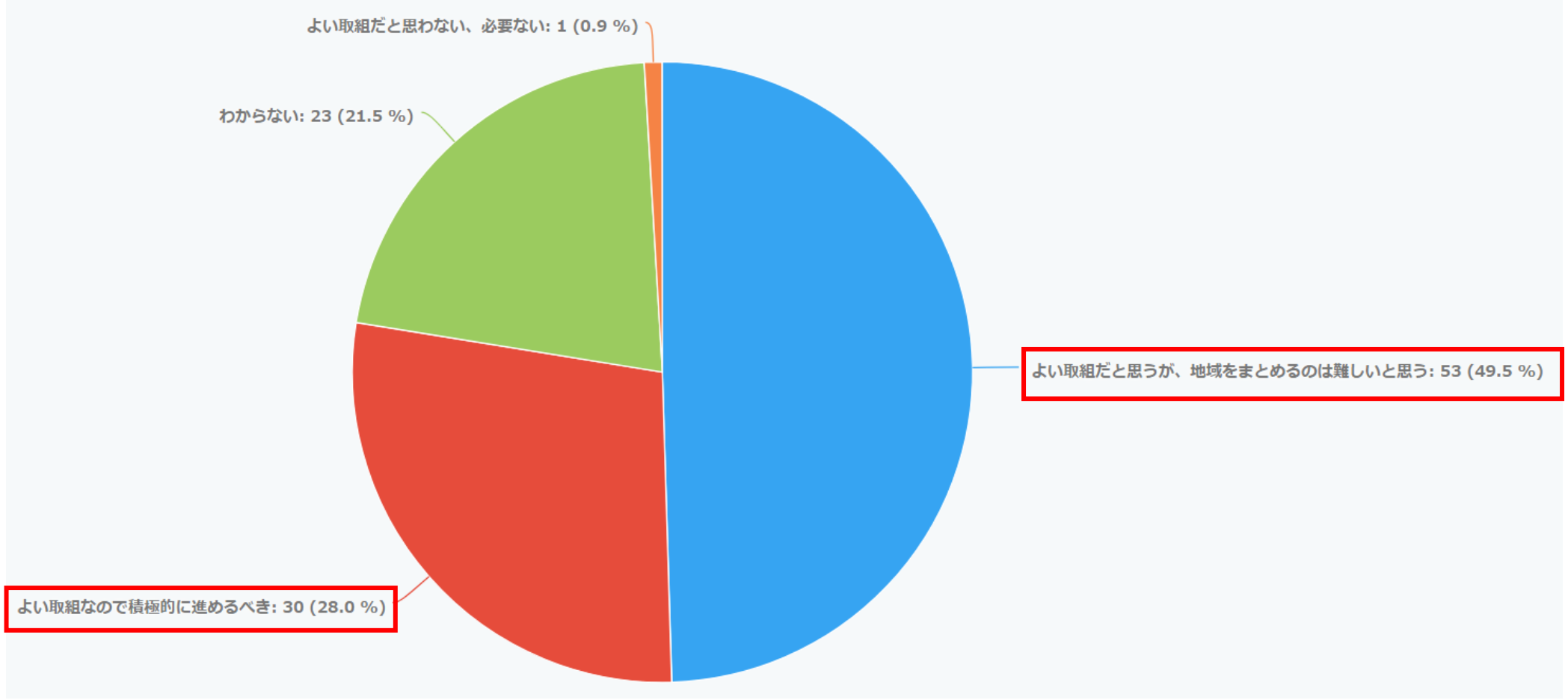
【問18　今後も今お住まいの自治区に住み続けたいですか】

「住み続けたい」との回答が69.2％と全体の約７割と高い割合を示している。



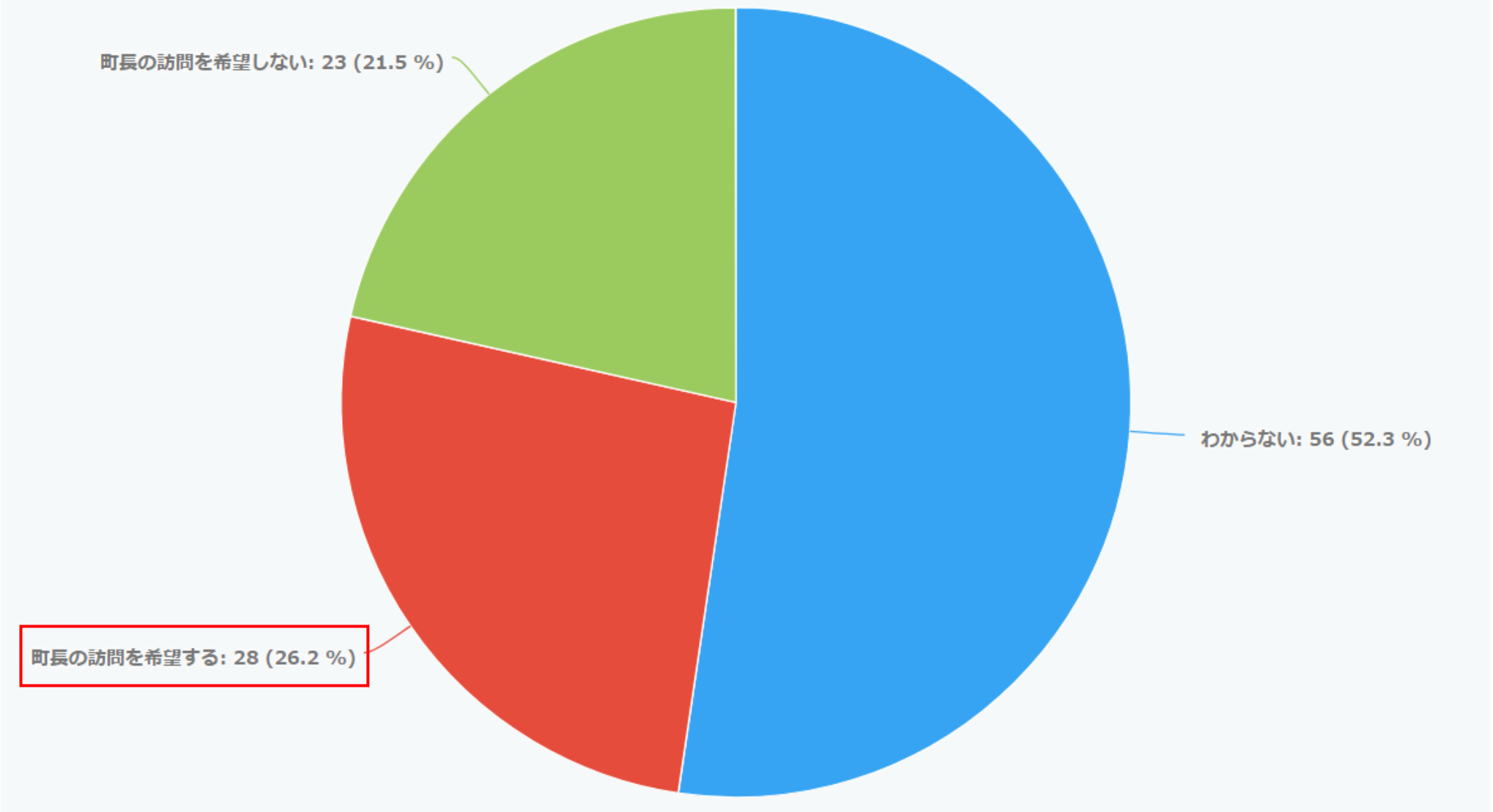
【問19 小学校区単位を基本とした地域運営組織を設置して地域づくりを行う取組について】

「よい取組なので積極的に進めるべき」との回答が28%、「よい取組だと思うが、地域をまとめるのは難しいと思う」との回答が49.5%となっている。よい取組と考える一方、地域運営組織を設置した地域づくりに実際に取組んだ際に地域をまとめることに難しさを感じる割合が多いことがわかる。



【問20　町長が自治区へ伺い、自治区長や住民から地域の現状や課題について直接お聞きする取組について】

「わからない」との回答が52.3%と最も多く、「町長の訪問を希望する」との回答は26.2%となっている。



No	問21 自由意見
1	鳥獣対策　田畑が荒らされて困る
2	国道、県道、町道ののり面の整備の充実をお願いしたい。（大型ダンプ等がセンターラインを越えて走行してくると危険） 害獣対策について、他の県や他地区からの情報を集め、有効な手段を教えてほしい。
3	尾岐地域の資源（尾岐小学校、グラウンド、体育館）、小山スキー場の活用、利活用等もっと住民が使いやすいシステムの検討をしてほしいと思います。 壊すのではなく、活用する方向で考えることはできないか？経費がかかるのは理解できます。地区毎につどいの場を推奨していますが、集まれるへの提供や援助が不足していると思います。
4	何事も予算がないと前に進まない。
5	自治区の再編が必要とは思うがなかなか住民の反対があってむずかしいか？ 歳を重ねて区長になったがなぜ男ばかり区長をすることになっているのか？改革しない町にも責任が在るのではないか？雰囲気づくりが必要
6	① 地域づくりとは何か、地域づくりのためになんらかの資源は必要かなど、いち区長として回答することが大変難しかった。 問19で地域づくりセンターを小学校区程度単位で地域運営を考えているということから、問13、14、16のようなより小さなコミュニティーである自治区に地域づくりを求める設問は答えにくいと思われた。 ところで、町全体の地域づくりを考えたときその中核となるのは伊佐須美神社であろうと思うが、神社の杜がアオサギのコロニーとなっていることにはなんらかの対策が必要であると考える。毎年百を超えると思われる数が飛来し繁殖しており昼夜を問わない鳴き声やフンの臭いは神社はもとより周辺環境を著しく悪化させている。会津文化発祥の地を標榜するならこの対策は不可欠である。 ② 区が空き家として把握していた家が、夜間に電灯が灯るなど住人がいるような様子があった。このため、回覧板の配布等町からの広報事項伝達の必要から居住者情報の把握・確認のため役場を訪ねたところ、個人情報なので教えられないとの対応だった。 区長の業務は町の業務を一部代行して行なっているものと理解していたが、今後このような対応を改善する余地はあるか。 ③ 河川や道路の美化作戦時のゴミ袋と軍手の配布を取り止めてほしい。 現在、美化作戦実施日直前の回覧文書配布に合わせてゴミ袋と軍手が各区の戸数分配布されている(6区は103戸)。区長はこれを各組の必要戸数分仕分けして回覧文書とともに各組長宅に持参している(6区は15組)。 今年の河川クリーンアップ作戦時、ゴミ袋と軍手が数枚足りなかったことから担当課に連絡したところ取りに来てくれとのことだった。担当課で全区必要戸数分を仕分けするのはかなりの労力であろうことは推察され、このようなミスもやむを得ないと思われる。 美化作戦は毎年区の全戸が参加することはないうえ、小中学校含め複数の団体がゴミ拾いをしているようでゴミはほとんど集まらない状況である。ゴミ袋や軍手の仕分け作業に費やす労力の割には効果がほとんどない。 このため「美化作戦を実施するので各自レジ袋等を持参して集合して下さい」との呼びかけで十分ではないか。美化意識の啓発効果も劣ることはないと考える。
7	自治区内の世帯数住民が少ないため、防災面では隣接する自治区に依頼しております。様々な地域活動を担う役職に参画できる方が少なくなっている現状です。他自治区との連携や行政の関わりも必要と考えます。
8	とにかく、自治区長に地域活動の仕事や役割が増えてきている。他の地域団体が無くなっている。就労しながら、自治会業務する人が増えている、区長をしない人は、徹底してやりたくない。次の区長が決まらないことがある。
9	何もかも区長名で税金通知が来る。免税手続等分からず他人の税金を支払うこともあり、区長として何も知らないと大損してしまう事がある。住民税等の延滞は催促状が来るのに免税に関しては催促のはがきすら来ない。町は免税に関しては怠慢な状態で個人の支払いに関しては真剣すぎる。区長なんかやるものではないと思う。返金してほしい。
10	地域づくりに関して 問19の「地域運営組織のイメージ図」であれば、新鶴地域では、組織立ち上げの際には、下記の既存団体（団体のリーダー）をも含めて検討してはいかがでしょうか。 （新鶴地域の各団体） 新鶴地域自治区長会 新鶴地域集いの場連絡協議会 民生児童委員新鶴地区会 交通安全協会新鶴支部 にいつる見守り隊 防犯協会新鶴支部 保護司会新鶴支部 更生保護女性会新鶴支部　ほか
11	①人口減少（２５~30年後、人口3,000人）の本町においては、町職員1人1人が地域集落支援人となり、各種イベント（秋季祭礼、盆踊り、消防団員等）のスタッフとならなければ自治区活動は維持できない。 ②各種災害や福祉分野では、プッシュ支援やアウトリーチ（手を差し伸べる）が主流である。待つ行政から、支援を必要とする人のもとへ直接出向く、行政へ転換すべきである。
12	◎自治区と言いながら行政の下請けになっていると思う。政教分離から考えると、ゴミ関係、防犯関係（防犯灯を含む）等は行政で行い、神社（祭りを含む）を自治区は担っていくことで良いと思う。 ◎「地域づくり」とは何なんですか、判りません。 ◎災害時に避難に補助が必要な方の把握は町は把握していると思うが、自治区では判りません。個人情報保護が優先で生命はその後ですか？ ◎１年交代の区長には何とも出来無いです。
13	就労世代での自治区長業務は困難である。平日日中不在の為、地区の問題点等を把握できない。
14	区長といっても1人ですべて出来るわけないので妻に協力してもらっています。（妻はこしとひざが痛くてたいへんです）
15	空き家が多くて草ボウボウで大変困ってる。アメシロとかが多くて！
16	これから１０年後は懸念した問題がもっと大きな形になると思います。団塊の世代の人たちの大量インドア、介護、空家、ますますの地球温暖化、円安、物価上昇、いずれは国民の半分近くは外国人、壊れ始めた民主主義と資本主義、職員の方々は大変です。ネガティブな事言ってすみません！　町運営の墓地や墓を作っていただきたいと思います。
17	役員みんな仕事の都合で、まとまって集まる機会が限られ、区長業務も増え、課題や打ち合わせなどもゆっくり話し合えない。資料作成も集会所へ行って、共有PCで作業するため負担がかかる。
18	地域づくりの前に限界集落を何とかしなければならない。大門地区は元々20件あったが現在は11件で30年後は数件しか残らないだろう。
19	自治会（町内会）が現在の様な形になって８０年位経ちますが、会に求められている事が当時とはかなり違ってきていると思います。当時と比べて世帯数も（人数）も減り、活動も縮小せざくなり他自治区と統合しないとやっていけゆけなくなります。そもそも昔と今では求められているもの（住民の方から）が違っていると感じます。行政が自治区に求めるものと自治区が行政に求めるものの違いの歪みの中では対策療法では解決できないと思います。思いきって自治会（町内会）を一度解体して本当に必要な人達で新しく立ち上げないといけいない様に思います。
20	地域の住民が主体となって地域を運営していくための体制づくりを進めているとしているが、現状困難な状況に悩んでる（地域は。）具体的な地域の現状や課題も把握・分析もせずに地域づくりを進めるのは本末転倒ではないか。（今回のアンケート実施を含む）協議会等（地域運営組織）を設置している間に地域崩壊は進んでしまう。
21	回覧物については、負担にならない様にして欲しい。郵送でもいいのかと思いますがお金がかかる事なので何とも言えないが、ほかの地域では区長のなり手が居ない所もある様なので何らかの対策をとってもいのかと思います。
22	少子高齢化、人口減少を止める。 次世代が町外に転出しないような職場創設が必要です。
23	『地域づくり』がどういうことかわからない。アンケート冒頭の言葉だけでは？？？？という感じです。目的や目指すところをはっきりと定義することで、具体的な対策が可能と思います。
24	現在当地区の区長選は、２年毎の当番制のような状態。よって区長になった場合、淡々と業務を処理するのみとなっているのが実情。近所付き合いも希薄になってきているので区内全体で何かをやろう又はやりたいような機運はない。
25	高齢化と人材不足によりパソコンを使える人が減っている。そもそもパソコンプリンターを持っていない区の役員は年齢順でやることになっているが、やる人間が減っている。特に区長がいない。区長の資質によると思うが、地域づくりにまで気が回る人材は少ないと思う。回覧板を配布するだけの区長がほとんどだと思う。最低でもごみや除雪など生活環境の維持は地域で担う。
26	役場からの区長及び自治区長に対する支援が足りない。７０代、８０代が先頭になって区のためにやらなければならない現状に対してさらに「よろしくお願いします」というのはつらいところではある。６０代は親の介護もありいつでも仕事をやめなければならない状況である。４０代５０代の方々も会社勤め中心であり地域に目を向けてほしいというのは今の日本社会情勢においては難しいと思う。（大企業中心で田舎の事業所・中小企業にはしわ寄せがきている）女性の方々、若い方々にもいろいろ伝えていきたいが出てこないのでうまくいかない。２０代３０代に地域社会の大切さについて上の年代から伝わっていかない、まさに地域社会の内部崩壊を感じる。
27	正直言って、運営の仕方が効率的ではないと感じます。回覧板、会議の招集を郵便で。自治区長、地域の区長会等。現役世代は、そんなに暇ではありません。まずは無駄な組織の整理。報告程度の総会の廃止。全てITを活用する事で、負担が減ると思います。
28	選挙の区割が変更になるのは時代にあっていると思う　昨年度厳しい暑さの中でエアコンもない場所での活動は健康的に大変で熱中症気味になった　その際アンケートにも区割の変更を書いたが他の地区からも同様の意見が多かったようで　すぐに実現してうれしく思う 区長への連絡は今まで通り文書配布や郵送の方が漏れがないと思うが　返信はネットの活用でよいと思う また　このような自由な意見をいつも書き込めるシステムがあるとよいと思う　その際　無記名では責任がなくなるので記名をするのが原則だと思う
29	荒地が、深刻な現状で何も出来ない。田畑が出来なくなってきた。特に高齢者世帯の土地
30	地域づくりとは何か、地域にどうしろというのか不明。一方的になっているのでは？
31	仕事をしながら区長をしなければならない年齢の方50代で区長年配の方にももう一度でも　区長にチャレンジしやすい環境藤田は農業用ため池が３つ有り 高齢では管理が難しい
32	会議日程などある場合連絡を少なくても、１カ月前位に、連絡ほしい。仕事の休みの都合等で
33	ICT導入は、区長が通信機器を持っている?操作できる？　これらの対応策を考慮したうえで判断して下さい。QRコードを活用し各種会議の出欠やアンケート調査に活用出来るように成った、利用困難な方に対しても配慮されている。喜ばしい事。
34	地域の方から要望が多い　用水の水管理もあるので大変です
35	近年、地域づくりという言葉が前面に出ておりますが、地域づくりとはどのような方向性を持って取り組むべきものなのかを十分理解していない。行政先行は判るが町人対し方向性・具体性を示しては如何なものでしょうか。
36	問8について　まだ導入すべきでない　受け側の対応が可能かよく検討してほしい問19について　地域住民が主体で運営することになると思うが益々行政との関係がなくなり行政に住民の声が届かなくなるのではないか
37	本庁舎が高田にできたことで、書類提出など本庁舎へ行かなければいけないので、本郷庁舎で済むシステムを作っていただきたい。
38	地域発信ではなく行政主体だと地区住民は「やらされ」感がある。あくまでも地域主導でないと失敗する感がある。そのために自治会や地区の団体と行政がじっくり話合い、「人を育てる」活動が必要だと思います。地域と行政のパイプ役は大変だしにくまれ役であるがこのパイプ役を役場は最も大切にして意見を集約しなければならない。ぜひ当地区にきてください。（永井野自治会）